

**2024 年度
公募制推薦入試<前期>
2023 年 11 月 22 日実施分**

問題と解答

国語

国語

I 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～7）に答えなさい。

レヴィ＝ストロースは彼が『悲しき熱帯』でフィールドワークをしたマト・グロツソのインディオ裸族たちのこと念頭にこ
う書いています。

「^(注1)彼の道具的世界」は閉じられている。そして、ゲームの規則は『手持ちの手段』でなんとかやりくりするということである。
すなわち、ある限定された時点で手元にある道具と資材だけで、ということである。加えてこれはまったく雑多なものである。
というのは、これらの道具と資材はいずれもその時点での企図とは無関係に集められたものだからである。というより、そもそも
もいかなる特定の企図とも無縁なのである。それらはストックを更新したり、増やしたり、あるいは何かを作つたり壊したりし
たときの残滓^(注2)でストックをほじゅうしたりする機会がある^(注3)ことに無計画に収集された結果である。ブリコルールの持ち物は何ら
かの計画によつて定められたものではない。（中略）それは道具性に基づいて定められるのである。ブリコルールたちの口ぶり
を真似て言えば、彼らの道具や資材は『こんなものでも何かの役に立つことがあるかも知れない』（*Ca peut toujours servir*）とい
う原理に基づいて収集され保存されているのである。」

『野生の思考』という二十世紀の知的パラダイムを一変させた主著の冒頭でレヴィ＝ストロースは「ブリコルール」について
書きました。ヨーロッパの「文明人」たちとは別の種類の知、「野生の思考」によつて思考する「未開人」たちがいる。彼らの
知はどのように効率的に機能しており、それが彼らの人間的世界の秩序と尊厳をかたちづくっているか。レヴィ＝ストロースは
それを知らしめることで、自民族中心主義のうちにまどろんでいたヨーロッパ知識人に ① を浴びせました。諸君が唯一の
人間的知と思つてゐるものとは別の仕方で機能している知が存在する。「人間の生が持ちうるすべての意味と尊厳」を自分たち

の集団だけが独占しており、他の集団はそれを欠いていると考えることはあまりに「」である。「人間性はその歴史的・地理的な諸様態のうちのただ一つにすべて含まれていると信じることができるためにはよほどの自民族中心主義と無思慮が必要である。」

レビューストロースはそう書きました。

野生の人々には固有の知があります。それはあらかじめ立てられた計画に基づいて必要な道具や素材をてきぱきと集める能力ではありません。「ありもの」の「使い回し」だけで未来の需要に備える能力です。

ジャングルを歩いていると目の前にさまざまなモノが出現してきます。それは植物であったり、動物であったり、無機物であったり、有機物であったり、人工のモノであったり、自然物であったりします。その中のあるものを前にしたときに「ブリコルール」は立ち止まります。そして、「こんなものでもいつか何かの役に立つかもしれない」と言って、背中の合切袋（がっさいぶくろ）に放り込む。

なぜ「いつか何かの役に立つかもしれない」ということがわかるのか。ジャングルの中に、彼の視野の範囲には「その用途や実用性がわからないもの」がそれこそ無数にあつたはずです。どうして、「その用途や意義が知れぬ」無数のもののうちで、とりわけ「それ」が彼の関心を惹きつけたのでしょうか。

先駆的にその有用性を知つて、いたという言い方でしかこの行動は説明がつきません。そして、実際に彼は「いつか何かの役に立つかもしれない」と思つて拾つておいたものについて、あとになって「ああ、これを取つておいてよかつた」と嘆息したという経験を繰り返してきた。そういう反復を通じてしか、そのような能力は強化されませんから。

人間には「どうしてよいかわからないときに、どうしてよいかわかる」能力が潜在的に備わっています。その能力は資源がじゅんたくで安全な環境では発達しない。「どうしていいかわからない」ときにでも、「どうすればいいか」を訊きに行く人がいたり、必要なものを買い足しに行けるなら、先駆的に知る必要はない。けれども、資源が乏しい環境や、失敗したときに「リセット」することが許されないタイトな環境においては、「どうしていいかわからないときにも適切にふるまう」ことが生き延びる

ために必須のものになる。

「学び」という営みは、それを学ぶことの意味や実用性についてまだ知らない状態で、それにもかかわらず、これを学ぶことが、いざれ生き延びる上で死活的に重要な役割を果たすことがあるだろうと先駆的に確信することから始まります。「学び」はそこからしか始まりません。私たちはこれから学ぶことの意味や有用性を、学び始める時点では言い表すことができない。それを言い表す^(エ)「イや価値観をまだ知らない。その「まだ知らない」ということがそれを学ばなければならない当の理由なのです。そういうふうな順逆の狂った仕方で「学び」は構造化されています。

「学ぶ力」というのは、あるいは「学ぶ意欲（インセンティヴ）」というの、「これを勉強すると、こういう『いいこと』がある」というほうシユウ^(オ)の約束によってかたちづくられるものではありません。その点で、私たちの国の教育行政官や教育論者のほとんどは深刻な勘違いを犯しています。子どもたちに、「学ぶと得られるいいこと」を、学びに先立つて一覧的に開示することで学びへのインセンティヴが高まるだろうと彼らの多くは考えていますが、人間というのはそんな単純なものではありません。「学ぶ力」「学びを発動させる力」はそのような数値的・外形的なベネフィットに反応するものではありません。

「学ぶ力」とは「先駆的に知る力」のことです。自分にとつてそれが死活的に重要であることをいかなる論拠によつても証明できないにもかかわらず、確信できる力のことです。ですから、もし「いいこと」の一覧表を示されなければ学ぶ気が起こらない、ほうシユウ^(オ)の確証が与えられなければ学ぶ気が起こらないという子どもがいたら、その子どもにおいてはこの「先駆的に知る力」はすい^(カ)びしているということになります。私たちの時代に至つて、日本人の「学ぶ力」（それが「学力」ということの本義ですが）が劣化し続いているのは、「先駆的に知る力」を開発することの重要性を私たちが久しく閑却したからです。

今の子どもたちは「値札の貼られているものだけを注視し、値札が貼られていないものは無視する」ように教えられています。その上で、自分の手持ちの「貨幣」で買えるもつとも「値の高いもの」を探しだすよう命じられている。幼児期からそのような「賢い買^(b)い物」^(カ)のための訓練を施された子どもたちの中では、「先駆的に知る力」はおそらく萌芽状態のうちに摘まれてしま

うでしょう。「値札がついていないものは商品ではない」と教えられてきた子どもたちが「今はその意味や有用性が表示されていらないものの意味や有用性を先駆的に知る力」を発達させられるはずがない。

けれども、この力は資源の乏しい環境の中で（ということは、人類が経験してきた全歴史のほとんどにおいて）生き延びるために不可欠の能力だったのです。

（内田　樹「日本辺境論」より）

（注1） レヴィ＝ストロース＝（1908－2009）ブリュッセル生まれ。パリ大学法学部卒業後、高等学校の哲学教師をつとめた。1935年サンパウロ大学に社会学教授として招かれ、先住民社会の実地調査に従事し、民族学者としての研鑽を積んだ。1948年パリに戻り、1959年よりコレージュ・ド・フランスの社会人類学教授をつとめた。

（注2） マト・グロツソ＝ブラジル中西部地方に位置する広大な州。

（注3） ブリコルール＝フランス語で「便利屋」を意味し、この本文では、「限定された資源のうちで生活している野生の人々」を意味している。

問
1

太線部①～⑤の熟語のカタカナで表記された部分に使用する漢字を、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。



5 4 3 2 1
位 留 為 異 意



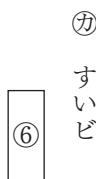
5 4 3 2 1
中 重 住 充 十



5 4 3 2 1
酬 醉 収 州 作



5 4 3 2 1
萬 慢 滿 万 漫



5 4 3 2 1
鼻 尾 火 尾 微



5 4 3 2 1
卓 抨 沢 拓 宅

問2

傍線部(a)と(b)の文中における意味を、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

(a) 野生の思考

⑦

顕在的に有用なものを特定の企図なしに収集するための知恵
潜在的に有用なものを目的に従って収集するための知恵

特定の目的や企図に従って物の有用性を識別するための知恵
特定の目的や企図なしに物の有用性を識別するための知恵

五感を鋭くし、本能に従つてものを収集するための知恵

草木が芽を出そうとしている状態

新しいことが起ころうとしている状態

新しい胚が成長しようとしている状態

新しいアイデアが生まれようとしている状態

子どもの身体的成长が活発になろうとしている状態

(b) 萌芽状態

⑧

問3

空欄①に入れるのに最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑨

- | | | | | |
|----|----|----|----|----|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 異議 | 罵声 | 冷水 | 熱湯 | 非難 |

問4

波線部Ⓐ 「道具的世界」 とあるが、その意味として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑩

- 1 特定の目的と様々な手段との連関からなる生活空間
- 2 明確に役に立つ様々な道具を提供してくれる生活空間
- 3 狩りに役立つ様々な道具を発見できるような生活空間
- 4 有用性の連関によって成り立っているような生活空間
- 5 目の前に様々な役に立つ自然物が存在している生活空間

問5

波線部Ⓑ 「『先駆的に知る力』を開発することの重要性」とあるが、こうした「開発」はどのようにすれば可能になるのかと筆者は考えているか。最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑪

- 1 ものの有用性を繰り返し教えられることによつて
- 2 ジャングルの中での生活を続けることによつて
- 3 資源の限られた環境で試行錯誤を重ねることによつて
- 4 ものの有用性とは何かを繰り返し調査することによつて
- 5 ものの有用性とは何かを繰り返し確信する体験によつて

問6

波線部⑥ 「賢い買い物」とあるが、それはどういう意味か。その説明として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

□⑫

- 1 最も高価なものをできるだけ安く購入すること

- 2 価値あるものとされているものを効率的に入手すること

- 3 高価なものを割引セールの際に購入すること

- 4 最も高価なものをできるだけ楽に入手すること

- 5 価値あるものを自分でみつけ、手持ちのお金で購入すること

問7

本文に合致する内容として、最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

□⑬

- 1 「野生の思考」は古代の生活に特有の知のはたらきである

- 2 「学ぶ力」を開発するためにはインセンティブが必要である

- 3 現代の文明社会においてこそ「先駆的に知る力」は必要である

- 4 資源が限られた環境においては「先駆的に知る力」が重要となる

- 5 「野生の思考」は西洋の文明社会の諸問題を解決する鍵となる

II 後の問い合わせ（問1と問2）に答えなさい。

問1 次の四字熟語ⒶとⒷの空欄に入れる漢字を、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

意味

Ⓐ

⑯

面□九年

5 4 3 2 1
壁 岩 壁 石 一

一つのことに忍耐強く専念して、やり遂げること

Ⓑ

⑮

杓□定規

5 4 3 2 1
子 全 準 剣 私

一定の基準で全てを律しようとするここと

問2 次の慣用句ⒶとⒷの意味として最も適当なものを、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

Ⓐ 額を集める ⑯

- 1 多人数の注目を集めること
- 2 多人数の知恵を集めること
- 3 互いにうちとけて話し合うこと
- 4 間近に向かい合って座ること
- 5 多人数が集まって相談すること

Ⓑ のるかそるか ⑰

- 1 あきれてものが言えない状態であること
- 2 賛成か反対か決めかねていること
- 3 口先でだまされかねないような状態であること
- 4 成功するかしないかわからず、とにかくやつてみること
- 5 はつきりと判断することができない状態であること

2024年度 公募推薦入試＜前期＞解答 11月22日実施分

国語		
解答番号	解答	配点
①	2	2
②	4	2
③	3	2
④	4	2
⑤	5	2
⑥	1	2
⑦	4	3
⑧	2	3
⑨	3	4
⑩	4	5
⑪	3	5
⑫	2	5
⑬	4	5
⑭	3	2
⑮	5	2
⑯	5	2
⑰	4	2